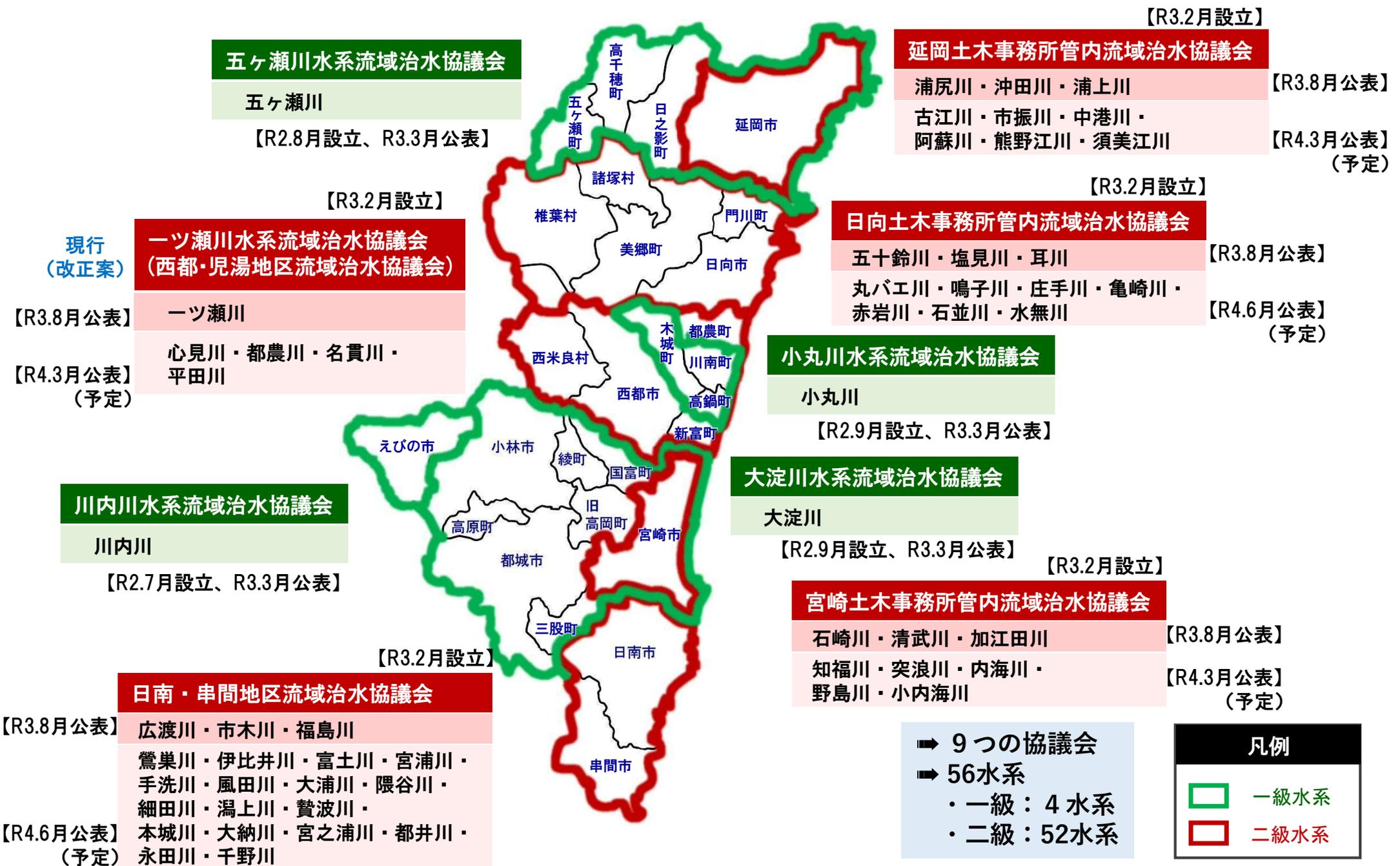


宮崎県内における流域治水の枠組



流域治水協議会と水防災意識社会再構築協議会について



H29.6月～

水防災意識社会再構築協議会

- ▶ 避難・水防対策
- ▶ 危機管理型ハード対策 等

R2.2月～

流域治水協議会

- ▶ 流域治水プロジェクトの対策内容の検討

二級水系 流域治水協議会（流域治水プロジェクト）

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策～

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策
- 内水氾濫対策
- 土砂災害対策
- 高潮、地震・津波対策
- 流水の貯留機能の拡大
- 流域の雨水貯留機能の向上
- 森林の整備・保全、治山施設の整備 等

● 被害対象を減少させるための対策

- リスクの低いエリアへの誘導／住まい方の工夫 等

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 防災学習の推進
- 水害リスク情報の提供
- 防災情報、避難体制の検討・連携強化
- 避難体制等の強化
- 経済被害の軽減 等

水防災意識社会再構築協議会

フォローアップ、対策内容の追加充実化

今後

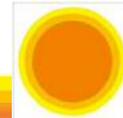
二級水系 流域治水プロジェクト

流域治水協議会



水防災意識社会再構築協議会

二級水系 流域治水協議会のスケジュール



日本の
ひなた
宮崎県

R3. 2月 第1回 流域治水協議会幹事会 …

取組状況・対策内容の検討

- ▶ 協議会の設立
- ▶ 目的・進め方・とりまとめ方の共有など

~R3.7月 第2・3回 流域治水協議会幹事会 …

公表案とりまとめ

- ▶ 各機関の取組状況・対策案の洗い出し
- ▶ 流域治水プロジェクト公表内容の確認

R3. 8月 第1回 流域治水協議会 …

- ▶ 流域治水プロジェクト内容の確定
→ プロジェクト策定

R3. 8月 流域治水プロジェクトの公表 …

- ▶ 8.30：県HPにて公表

R4. 3月 第4回 流域治水協議会幹事会 …

公表案とりまとめ

- ▶ フォローアップ・対策内容の充実化
- ▶ 対象流域の追加
- ▶ グリーンインフラの取組

R4. 3月 第2回 流域治水協議会 …

- ▶ フォローアップ・対策内容の充実化
- ▶ 新規流域治水プロジェクト内容の策定

R4. 3月 流域治水プロジェクトの公表 …

- ▶ 3.31：県HPにて公表予定

R5.3月
【年度末】 第3回～ 流域治水協議会 …

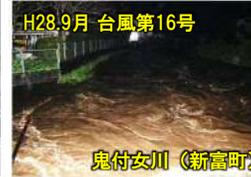
- ▶ フォローアップ
- ▶ 対策内容の充実化など

○これまで西都・児湯地区では、平成17年の台風14号などにより甚大な被害が発生しており、さらに今後の気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、国・県・市町村・企業など流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させるためのハード対策やソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト」を策定・公表し、**流域治水を推進**していく。

○**一ツ瀬川水系など5水系**において、流域治水を推進していくことで、災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる災害に強い地域づくりの実現に取り組んでいく。

主要な出水被害

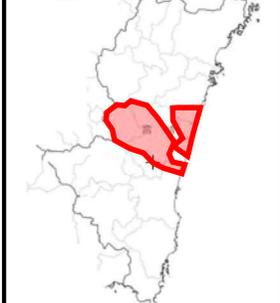
平成9年9月	台風第19号
平成16年8月・10月	台風第16号・台風第23号
平成17年9月	台風第14号
平成26年6月	梅雨前線豪雨
平成28年9月	台風第16号
平成30年9月	台風第24号
令和2年7月	梅雨前線豪雨



対象水系

- 1)一ツ瀬川水系
- 2)心見川水系
- 3)都農川水系
- 4)名貫川水系
- 5)平田川水系

位置図



流域の関係者



- ▶ **宮崎市** (危機管理課、森林水産課、都市計画課、下水道整備課、佐土原総合支所 農林建設課)
- ▶ **西都市** (危機管理課、建設課、建築住宅課、農林課、上下水道課)
- ▶ **新富町** (総務課、産業振興課、農地管理課、都市建設課)
- ▶ **都農町** (総務課、建設課)
- ▶ **川南町** (まちづくり課、建設課)
- ▶ **西米良村** (総務課、むら創生課、農林振興課、建設課)
- ▶ **九州森林管理局 西都児湯森林管理署**
- ▶ **森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所**
- ▶ **九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所**
- ▶ **九州電力** (宮崎支店)
- ▶ **宮崎県** (西都土木事務所、高鍋土木事務所、児湯農林振興局、河川課、都市計画課、砂防課、危機管理課、建築住宅課、自然環境課、森林経営課、農村計画課、農村整備課)

流域治水プロジェクトの内容

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策
- 土砂災害対策
- 流水の貯留機能の拡大
- 流域の雨水貯留機能の向上
- 森林の整備・保全、治山施設の整備

2. 被害対象を減少させるための対策

- 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 防災情報、避難体制の検討・連携強化
- 土地のリスク情報の充実・提供
- 防災学習の推進

○自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進めるグリーンインフラを取り入れた流域治水に取り組んでいく。

○流域の風土・歴史・文化を踏まえ、河川の有する多様な機能を十分に発揮し、災害発生防止、河川の利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備・保全により、グリーンインフラの取組を推進する。

流域治水の取組



グリーンインフラの取組



立地適正化計画



① 治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出 (瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)
- ・河川景観の保全・創出

② 自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・湿地等の貴重な自然環境の保全
- ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出

③ 魅力ある水辺空間・賑わい空間創出

- ・川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持

④ 自然環境が有する多様な機能活用の取組

- ・水辺空間のレジャー等の利用
- ・小中学生や任意団体等による環境学習



※記載している流域治水の内容は、ごく一部のみである。詳細は各プロジェクトを確認してください。

児湯地区その他水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、都農川水系など4水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。



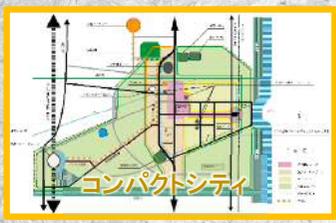
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 【洪水氾濫対策】
 - ・ 河道掘削 等
 - 【土砂災害対策】
 - ・ 砂防堰堤の整備 等
 - 【森林の整備・保全、治山施設の整備】
 - ・ 森林整備・保全（造林・間伐・下刈り等）による土砂流出抑制、保水力の強化 等
 - ・ 治山ダム、山腹工等による土砂流出防止 等
 - 【流域の雨水貯留機能の向上】
 - ・ ほ場整備の推進、農業用ため池の整備・改修 等



- 【対象水系】
- ①心見川水系
 - ②都農川水系
 - ③名貫川水系
 - ④平田川水系



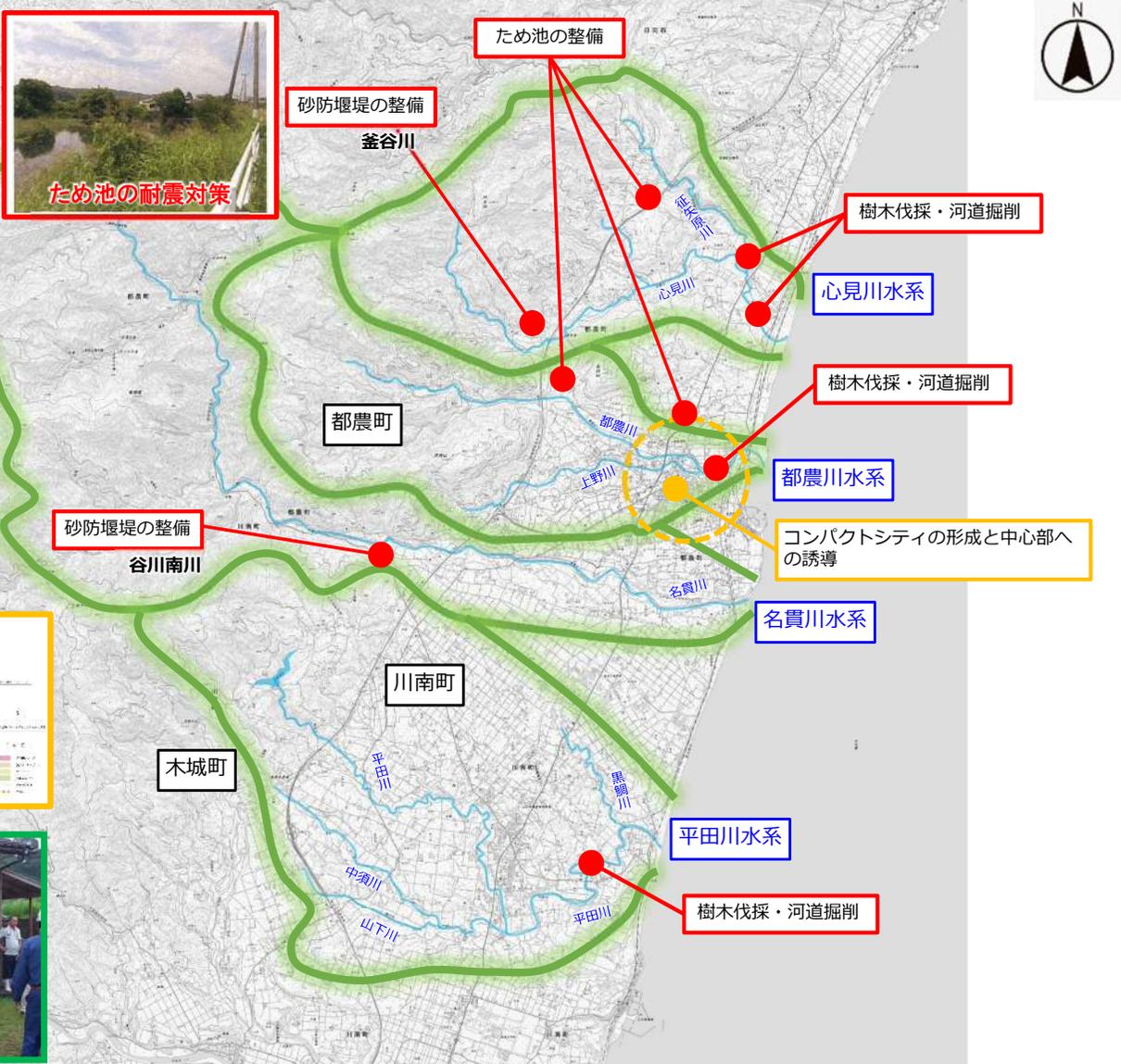
- 被害対象を減少させるための対策
- 【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】
- ・ コンパクトシティの形成と中心部への誘導



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 【防災情報、避難体制の検討・連携強化】
- ・ 水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供 等
 - ・ 避難訓練 等
- 【土地のリスク情報の充実・提供】
- ・ 洪水浸水想定区域図の作成・データ提供 等
 - ・ 洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布による啓発
 - ・ 農業用ため池ハザードマップの公表・周知
 - ・ テレビ、ラジオ、ポスターによる啓発（防災の日、防災週間）
- 【防災学習の推進】
- ・ 防災士養成研修や出前講座



- グリーンインフラの取組
- ※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照



※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf524】

児湯地区その他水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 都農川や平田川など4河川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 浸水の恐れがある箇所での河道掘削や水害リスク情報の空白地帯の解消に向けた検討・調査を実施する。

【中期】 雨水貯留機能向上としてほ場整備や農業用ため池の整備・改修を行い、水位情報の充実やハザードマップ等を活用した避難啓発・支援等を実施し、避難体制の強化を図る。

【中長期】 流域の雨水貯留機能の向上として森林整備や治山事業を実施し、流域全体の治水安全度向上を図る。

■ 河川対策 (約 1 億円)
■ 砂防対策 (約 2 億円)

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削 等			
	土砂災害対策	宮崎県		砂防堰堤の整備 等		
	森林の整備・保全、治山施設の整備	西都児湯森林管理署、宮崎県、森林整備センター		森林整備・保全(造林・間伐・下刈り等)による土砂流出抑制、保水力の強化 等		
		西都児湯森林管理署、宮崎県		治山ダム、山腹工等による土砂流出防止 等		
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎県、都農町、川南町		ほ場整備の推進		
宮崎県、都農町			農業用ため池の整備・改修 等			
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	都農町		コンパクトシティの形成と中心部への誘導		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	宮崎県	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供 等			
		都農町、川南町	避難訓練 等			
	土地のリスク情報の充実・提供	宮崎県	洪水浸水想定区域図の作成・データ提供 等			
		宮崎県、都農町、川南町	洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布による啓発			
		宮崎県、都農町、川南町	農業用ため池ハザードマップの公表・周知			
		宮崎県	テレビ、ラジオ、ポスターによる啓発 (防災の日、防災週間)			
防災学習の推進	宮崎県	防災士養成研修や出前講座				
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出 (瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)			
			河川景観の保全・創出			
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、都農町、川南町、西都児湯森林管理署、森林整備センター	湿地等の貴重な自然環境の保全			
			生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出			
魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県、都農町	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持				
自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、都農町、川南町	水辺空間のレジャー等の利用 小中学生や任意団体等による環境学習				

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。